

「五条大橋 橋洗い(クリーンアップ・シンデレラ大作戦)」

国道1号「五条大橋」は、日本の東西を繋ぐ私たちの大切な共通インフラです。また、その橋梁は、「牛若丸と弁慶像」が配され遠景に比叡山を臨み、京都の街を南北に流れる鴨川と一体となり美しい景観を織り成しています。

平成27年9月5日(土)に、公益社団法人下京納税協会(広報部会ほか)が、国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所と協働で、納税道義の高揚を目的に、地域貢献活動の一環として、総勢56名で五条大橋・橋梁の清掃・美化活動に取り組みました。

【位置図】



【写真】

五条大橋を鴨川の下流側より望む



牛若丸と弁慶像

※平安時代の末に牛若丸と弁慶が五条大橋で出会ったとの伝説があり、このため五条大橋の西側に牛若丸と弁慶像のモニュメントが設置されています。

快晴の天気の中、天野専務理事と浦尾女性部会長の挨拶で元気よくスタート。



清掃前に田中計画課長による「五条大橋の歴史」についての説明。



擬宝珠(ぎぼし)は雑巾で磨きますが、雑巾がすぐ汚れてしまいました。



欄干には苔やすすがこびりついているので、汗だくになってブラシで磨き取ります。



吐き捨てられたガムは堅くなってしまっているの、割り箸で取るのも苦労。



予定外でしたが、中央分離帯に吸い殻がいっぱい捨てられていたので拾いました。



清掃後の五条大橋。きれいになりました！



清掃完了。五条大橋をバックにみんなで記念撮影。お疲れ様でした。



※「橋洗い」とは

東京日本橋界隈の地元有志の皆さんが、昭和43年に明治百年を記念して、江戸繁栄の象徴である東京日本橋を中心とした繁華街の発展を願って名橋「日本橋」保存会を設立し当時の建設省東京国道工事事務所の協力のもと、橋の清掃を活動の中心に据えて始められたのが最初です。

その後、大阪などでも「橋洗い」の活動が実施されていますが、京都府内において、民官が協働で「橋洗い」を行うのは、今回が初めてとなります。